

妙高エンジョイスキー

- 開催日 2020年1月5日～1月7日
- 会場 国立妙高青少年自然の家および赤倉温泉スキー場
- ディレクター名 塚原教弘（わか）

■キャンプのねらい

- ・雪への親しみを育み“もっとスキーがしたい”や“また雪で〇〇遊びをしたい”という気持ちを持ち帰る
- ・友だちとの集団生活を自ら楽しいものにする

■同行スタッフ（キャンプネーム）

イマタク、しお、じろー、そってい、みどる、みりむらじ、よっしー、よもジ、らむ、リオ、レッサー

■活動内容

<1日目>
 集合、施設到着
 ブーツ・板合わせ
 足慣らしレッスン
 ビンゴ大会

<2日目>
 朝のつどい
 スキーレッスン①
 スキーレッスン②
 キャンドルファイヤー

<3日目>
 スキーレッスン③
 施設出発、解散



施設に到着後、身支度をすませて、さっそくスキーに出発です。



スキー板をつけて、足慣らしレッスンスタート！



1年ぶりのスキーでしたが、体は滑る感覚を覚えていました。



1日目の夜はスキー班に分かれてビンゴ大会！大盛り上がりでした。



景品はスキー場に持って行くおやつ、ワクワクしながら選びました。



おやつ楽しみも増え、明日への期待が高まっているようでした。



2日目、朝ご飯を食べてスキー場へ「スキー楽しむぞー！」



スキー日和、ゲレンデを気持ちよさそうに滑っていました。



トレイン滑走（前の人と同じラインを滑る）の練習もしました。



カレーライスをたくさん食べて午後のレッスンの備えました。



ストックを使った回旋の練習。ターンのきっかけをつかみました。



1日中たっぷりスキーを楽しみました。



ふわふわの雪の斜面を転げ落ちて、雪まみれにもなりました。



大興奮！スキーだけでなく、体いっぱい雪を楽しみました。



2日目の夜、キャンドルファイヤーでみんな大盛り上がり！



スキー3日目。構えや滑りが安定し、目に見えて上達していました。



パラレルターンで滑走することができる参加者もいました。



3日間、スキー班に分かれて滑りこみ、友だちとの仲も深まりました。

■キャンプのエピソード

「スキー、大好きー！」

「スキー、大好きー！」キャンプで子どもたちと決めた合言葉です。この言葉の通り、3日間たくさん滑りこみ「もっとスキーがしたい！」と口をそろえていました。

施設に向かうバスの車中で、楽しみにしていることを聞いてみると「すごいスピードで滑りたい！」や「板をそろえて滑れるようになりたい！」といった気持ちでキャンプに来てくれました。自分で身支度をし、友だちと一緒にたくさん滑る時間をつくることができました。その甲斐あって、子どもたちは見る見るうちに上達していました！

3日目には「またスキーがしたい！」や「春のキャンプに来るね」と、このキャンプを通じて、スキーを大好きになってくれました。

「時にはケンカもあったけれど…」

初めて出会う友だちでしたが、スキー場に着くと、一緒に雪遊びをしてすぐに仲良くなっていました。しかし、ケンカや思うようにいかないことも。慣れないブーツを履いている分、友だちとぶつかってしまったり、雪遊びに誘うために雪玉を投げてみるけれど、いい誘い文句ではなかったりということもありました。

うまくいかないことも体験し、友だちと仲良くなるにはどうしたらよいかを考え、最後には相手のことを考えて「ごめんね」と仲直りし、スキーで転んでしまった友だちのことを気にかけたり、雪の上を転がる遊びをつくらしたりしていました。楽しい時間をつくるのは自分たち次第。キャンプ中の葛藤も、子どもたちにとって大事な時間でした。